

名鉄新安城駅周辺の公共空間利活用に 関する企画提案書 (ゆめ pro 安城 新安城盛上げ隊)

令和4年9月30日

改定 令和4年11月2日

安城市長 神谷 学 殿

| | | | |
|-----------|-------|----|-----|
| ゆめ pro 安城 | 代表 | 伊藤 | 昌悟 |
| ゆめ pro 安城 | 副代表 | 杉浦 | 弘子 |
| ゆめ pro 安城 | 副代表 | 稲垣 | 敦哉 |
| ゆめ pro 安城 | 企画本部長 | 大林 | 将也 |
| ゆめ pro 安城 | 総務本部長 | 月岡 | 百々花 |
| ゆめ pro 安城 | 広報本部長 | 柘植 | 美咲 |
| ゆめ pro 安城 | 相談役 | 坂部 | 隆志 |

安城市におかれましては日頃より名鉄新安城駅周辺の地域事業にご理解とご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちは、安城北部の玄関口とも言われる名鉄新安城駅周辺につきまして、滞在する人々を増やし賑わいを創出するため、地域住民の交流、健康や自分らしさを表現し共有する取り組みについて、公共空間を活用した社会実験を検討しております。

つきましては、下記及び別添の通り名鉄新安城駅周辺の公共空間の利活用について企画提案をさせていただきますので、ともに協創のまちづくりを進めていくべくご検討をお願い致します。

- 1、 提案趣旨 名鉄新安城駅周辺において、マチナカの賑わいを創出するための社会実験を実施したいので、駅周辺の公共空間の借用をお願い致します。
- 2、 活動目的 名鉄新安城駅周辺におけるマチナカの賑わいを創出する地域住民の交流促進、テーマ性のある自立的なまちづくり意識醸成、仲間づくりを図っていく。
- 3、 実験概要 地域PR、音楽、ダンス、心と体の健康、多文化共生などをテーマとしたイベント、マルシェの開催

安城市におかれましては日頃より名鉄新安城駅周辺の地域事業にご理解とご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

名鉄新安城駅は昭和45年に旧今村駅から改築・改名され半世紀が過ぎ、JR安城駅と並び市内でもっとも乗降客数の多い駅に成長し、安城北部の玄関口として発展してきました。

さらに令和3年には橋上駅舎、自由通路も完成したおかげで、駅の利便性は向上し、県道56号線の安城区間開通も重なり広域的な交通利便性に優れ、定住人口の増加、優良企業の集積も進み、地域の豊かな自然環境や歴史資産もあり潜在的なまちのポテンシャルは非常に高い地域だと感じています。

しかしながら、新安城駅周辺は飲食店の廃業などが進み都市機能が削がれ、コロナ化の影響もあり滞在する人々は減少傾向にあり、賑わいを再生するイベントを催す駅周辺の公共スペースも限定される状況にあります。

都市再開発や土地の高度利用はさることながら、限られた公共スペースにおいても、自立したまちづくり意識の醸成、テーマ性のあるまちづくりを進めるソフト事業を立ち上げる可能性を追求し、マチナカの賑わい創出を目指していきたいと考えています。

そこで、名鉄新安城駅周辺の公共空間において、地域住民の交流やまちづくり意識の醸成が図られるソフト事業は何かを探求するとともに、まちづくりに関心を持つ者のネットワークづくりを進めるため、まずは、音楽・ダンス・心と体の健康、多文化共生、SDGsなど、地域のげんき・絆、社会環境にも考慮したイベントを順次開催し、新安城駅周辺に滞在する人々を増やしていけるか検証を進めていきたいと思えます。

つきましては、協創のまちづくり、公民あがて新安城駅周辺におけるマチナカの賑わいを創出するための「まちをつかう」社会実験に対しご理解をいただき、私ども「ゆめ pro 安城」に公共空間の使用機会をご提供いただきますよう提案するものです。